

4~7月のオープンキャンパス情報

OPEN CAMPUS

4/27. 5/25. 6/15. 7/6. 7/27

SUN 10:00-16:00

SPECIAL CONTENTS

芸工塾 at オープンキャンパス

開催日 4/27. 5/25. 6/15. 7/6

事前
申込制

「芸工塾」は、デッサン力を高めて表現力を身につける、無料の実技講習会です。入門講座とレベルアップ講座が選べるので、初めての方も経験者の方もレベルに合わせてご予約ください。オープンキャンパスで大学について知りながら、じっくりとデッサンを学びましょう！



BASIC CONTENTS

各学科の体験プログラム

4学科 12コースの学びを体験できるプログラムは、各日程で内容が変わるため、リピーターが多いのも特徴。ワークショップ形式やミニ講義に参加して、ものづくりや企画・表現の幅広さを体験しましょう！



各種ガイダンス

大学の特徴や入試制度、奨学金、就職まで、大学の基本情報を説明します。資料やサイトだけでは伝えきれない大学の魅力や特徴、受験生必見の入試制度、保護者も気になる奨学金・就職支援のことなどを分かりやすく解説！



無料学食体験

神戸芸工大の学食限定メニューを無料で体験できます。
※数に限りがあります

各種相談コーナー

「オープンキャンパス」では大学に関することを相談できるコーナーを設けています。4学科の教員に質問ができる「学科教員相談コーナー」や、入試、学費、下宿、就職など、大学進学に関する質問ができる「なんでも相談コーナー」のほか、学生スタッフとしてお出迎えする学生とも交流ができます！

全体キャンパスツアー

阪神甲子園球場約3個分の広さを誇る自然豊かなキャンパスには、専門の施設・設備が設置されています。おすすめの施設をスタッフご案内！



見どころ満載なオープンキャンパスで
神戸芸工大の雰囲気に触れてみよう！

INFORMATION

4月号表紙の作品情報



title: 「彩の流線」(イロドリリウセン)

生産・工芸デザイン学科 (旧: ファッションデザイン学科)
藤尾 琉星 さん

初夏に見た鯉は活発で、鮮やかな色彩は水面と交わり光とゆれる。水面はまるでカーテンのように静かにゆれ、内と外の世界を隔てる結界をつくり出します。インテリア展示会のために、「水面のカーテン」をテーマとして制作したこの作品は、そんな世界観を表現しています。
現実と神秘の狭間を映し出す水面を、神聖な領域と俗世を隔てる象徴であるしめ縄のイメージと重ねて、「注連縄紋り」という絞り染めの技法を採用。2枚の布をしめ縄状に絞り、1色目を染色。解いた後に逆方向に絞り、2色目を重ねることで、複雑な色の層をつくり出しました。最後にシルクスクリーンによるオパール加工を施し、部分的に透け感を加えることで、水面の光の反射やゆらぎ、光の変化を視覚的に再現。この技法により、光や角度によって変化する動的な表情を持つ作品となりました。

芸工塾 4~7月の予定

オープンキャンパス同日開催

体験 デッサン講習会

入門講座

はじめてデッサンを学ぶ方向け

OR

レベルアップ講座

既にデッサンを学んでいる方向け
中級・上級のモチーフを選択してください

*申込時にいずれかの講座を選択してください。

(開催日)

4/27

5/25

6/15

7/6

(時間)

12:45~15:45

高校生
対象

事前
申込制

ただ絵が上手くなるだけじゃない！
デッサンは、デザイン・アートの基本です。

詳細 & 申し込み ↓



4/27のお申込は
4/1スタート！

5/25以降は
約1ヶ月前に申込スタート！

デッサンは、芸工大の入試における必須科目ではありません。しかし、デザインやアートを極めたい方にとって、デッサンはとても大切な能力だといえます。目の前のものをじっくり見つめ、素材や質感、構造など細かい部分までしっかり理解し、紙の上に正確に表現する。上達してくると、そこに自分の意志や想いまで乗せられるようになってきます。何かをつくり、人の心に届けるという活動の根っこになるデッサン力を、芸工塾と一緒に育んでいきましょう。初心者の方には、鉛筆の選び方からお教えします。

芸術工学教育センター
行本健一 特任教授



SNSで最新情報発信中！

申込スタートや
イベント情報、
各種コンテンツを
チェックしよう！



@kobe_du_pr



@kobedu



@kobe_du

神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY



〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1
フリーダイヤル: 0120-514-103 (平日9:00-17:30 / 土9:00-17:00)
TEL: 078-794-5039 (広報入試課直通) www.kobe-du.ac.jp

神戸芸術工科大学が発行するシーズンレター

KOBE DESIGN UNIVERSITY

■ オープンキャンパス4~7月情報
■ 芸工塾 体験デッサン講習会4~7月情報
／ オープンキャンパス 同日開催



特集

生産・工芸デザインクロストーク

ジャンルを越えて生まれるもの

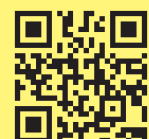
04

2025.April

4/27 オープンキャンパスの申込

4/1 START!

5/25以降は約1ヶ月前に申込スタート！



オープンキャンパスの
詳細・お申し込みは
こちらから！
kobe-du.ac.jp/event/

補助 & 減免制度もチェック！

オープンキャンパス来場者

交通費補助

対象地域にお住まいでオープンキャンパスに
来場いただいた高校生ご本人に
交通費の一部をQUOカードで支給いたします。



2025年4~8月のいずれかの
オープンキャンパスに参加いただくと、

入学検定料

15,000円 減免

今年度受験生の方を対象に2026年度入学試験
総合型選抜Ⅰ期<体験型>及び
総合型選抜Ⅱ期<面談型>の
入学検定料が15,000円減免されます。

特集

生産工芸デザインクロストーク

ジャンルを越えて生まれるもの

「プロダクトデザイン」「ファッション・テキスタイル」「クラフト」それぞれ異なる専門分野を学んできた先輩たちが、ジャンルの枠を超えたコラボレーションの魅力について語ります！



—みなさんは、なぜ現在の分野を選ばれたのでしょうか？

三浦 図工が得意だったので、芸工大のパンフレットを見て「家具をつくってみたい」と思ったのがきっかけですね。今は家具よりも、木の指輪をつくっている時間の方が多いですけど……。

藤尾 僕は古着が好きで、商品の仕入れやブランディングの勉強をしたいと思ったからです。でも2年生のときに「せっかく大学にたくさんの設備や道具があるんだから、今ここでしかできないことをしよう！」と方向転換し、今は布を染めて作品をつくる活動に熱中しています。

伊東 僕の場合は、家に近くて、美術の教職免許が取れるからです。

三浦 え、そうだったんだ。

伊東 うん、先生になりたくて。教職の勉強を続けながら、2年生の後期からは陶芸ばっかりやっていたかな。

藤尾 陶芸にはまるきっかけて、何かあったの？

伊東 2年生の陶芸の授業で、教授のアシスタントをしていた先輩に褒められたんだよね（笑）。それではじめてみたら、はまっちゃって。成形した土が、焼いているあいだに飛んできた灰やも殻と反応して色が変わるんだけど、毎回窯から出すまでどうなるか分からない。そのワクワク感が最高なんだよね。

三浦 それ分かるな～。僕も木の繊維の向きを感じながら無心で削り続けていると、勝手に作品ができてる感じ。ほとんどの場合、想像を超えたいいものになっているから不思議だった。

ぜひ1年生のうちからコラボ作品づくりを楽しんでほしいです！

ファッション・テキスタイルコース
※田ファッションデザイン学科
藤尾 流星さん
染色を基礎としたテキスタイルアートやインスタレーション作品を制作するほか、タイダイ染めの靴下なども制作。古着、写真、コーヒーが好き。



写真左：藤尾さんが藍染めをした、伊藤さんの愛用スニーカー。藤尾さん作、藍を使ったタイダイ染め靴下とコーディネートして。
写真中央：伊東さんが藤尾さんの藍染めからインスピレーションを受けてつくったお皿と、藤尾さんが伊藤さんのためにつくった泥染め×藍染めの布。写真右：三浦さんが制作した木の指輪。藤尾さんが染色し、木だけでは表現できない色に仕上げている。

藤尾 偶発的な反応が面白いよね。思い通りにならないのが楽しい。逆に、思い通りの仕上がりを目指して細かい計算をしながら試行錯誤するのも好きなんだよね。

コラボレーションによって作品の可能性が大きく広がる

—異なるジャンルを学ばれていますが、一緒に作品をつくることもあるのでしょうか。

三浦 僕と藤尾くんは1年の学祭で仲良くなって、これまでにいくつもコラボ作品をつくっています。

藤尾 はじめは、染料を抽出したあとの花を透明レジンのなかに入れて展示したくて、三浦くんは木の額縁をつくってもらったんだよね。友人のカフェに依頼された布看板を固定するために、竹杵をお願いしたこともありました。

三浦 逆に僕のブランドの布看板も、藤尾くん作。その後、木の指輪をつくりはじめたからは、作品の半分くらいは藤尾くんに染色をお願いしてるよね。

藤尾 三浦くんが「指輪つくってみた」ってプレゼントしてくれたから、「じゃあ染めてみるわ」って（笑）。

伊東 木の色そのものも素敵だけど、染めた指輪も木目を残しながら染まっているのがすごくいい感じだよ。

三浦 ここまで来るのに、2人でかなり試行錯誤したけどね。熱をかけて染色したら作品の継ぎ目が割れちゃったから、熱をかけずに染めるようにしてくれたり、いろいろな木の種類で染まり方を試したり。

藤尾 僕と三浦くんは、一緒に学外でグループ展もしていて。ジャンルは違うけど、仲間のような感じです。伊東くんと出会ったのも、グループ展の会場がたまたま同じだったからだよ。



や手法があることが分かって、「自分の作品に生かせるかも」っていうアイデアの引き出しがどんどん増える気がする。

三浦 うんうん。化学反応みたいに可能性が一気に広がるっていうのが、コラボの面白さだと思うな。

「生産・工芸デザイン学科」だからこそできること

—2024年度から、みなさんが所属されていた3つの学科を統合して「生産・工芸デザイン学科」が新設されましたが、どのような変化があったと思われますか？

藤尾 僕たちの場合はジャンルごとに学科が分かれていましたが、今は同じ学科内に3つのジャンルのコースがあるんですね。

三浦 1年生で3つのジャンルをすべて学んでからコースを決められるっていうのは、メリットしかないと思う。僕も今は木工けど、ミシンや陶芸も学んでみたかったから。たとえ基礎だけでも、実際に手を動かす経験ができるのは大きいと思うな。

伊東 僕も、自分の制作技法が彫刻に近いから、もしかしたら木工も合っていたかも……と思うことがあって。もし両方試せてたら、違う道に進んでいたかもしれない。

藤尾 色んなことを広く学んでから進む道を選べるなら、将来の可能性がすごく広がるよね。

伊東 入学時からからやりたいジャンルが決まっている人にとっては、それ以外のジャンルを学ぶ時間が無駄に思えるかもしれないけど、全力で試してみると意外と合うものが見つかるかも。僕が陶芸と出合ったように。それができるのは、ほかの芸大にはないメリットだと思うな。

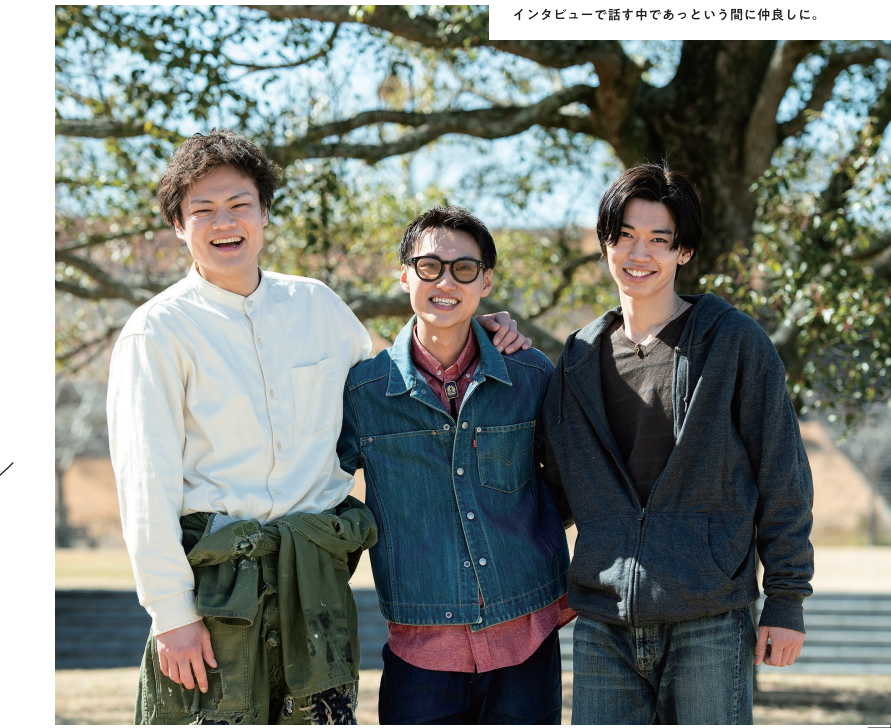
藤尾 僕もそうだけど、ほとんどの子が入学後にやりたいことを見つけてるもんね。

プロダクトデザインコース
※田プロダクト・インテリアデザイン学科
三浦 遼生さん

さまざまな木材を使った家具や額縁、木曜を利用したオーダーメイドのアクセサリー制作。趣味はアニメやまんが、キャンプ、スポーツ。



出会いや学びという小さなきっかけが、大きく将来を変えるかも！



藤尾さんが中心となって集まった3人。以前は顔見知り程度だった三浦さん伊東さんも、インタビューで話す中であっという間に仲良しに。

生産工芸デザイン学科について

生産・工芸デザイン学科は、

プロダクトデザイン、**ファッション・テキスタイル**、**クラフト**の3領域を横断することで、柔軟で幅広い表現の可能性を模索します。

1年次 …… 各分野における入門的な知識を学び、社会に出た時に自信をもって行動できるための「基礎力」を身につけます。

2年次 …… プロダクトデザインコース、ファッション・テキスタイルコース、クラフトコースのいずれかに所属。関連する分野を幅広く履修しながら「専門基礎力」及び「応用力」を身につけます。

3年次 …… 選択した専門分野の専門性を高めつつ、分野融合型プロジェクトを通じて思考力・技術力・表現力及び実践力を身につけます。

4年次 …… ついに集大成！研究テーマを設定し、卒業研究に挑みます。



クラフトコース
※田アート・クラフト学科
伊東 大輝さん

おもに陶芸の底化焼成という技法を用いた動物のオブジェや、ガラス系釉薬を用いた食器などを制作。休日も大学で制作活動をすることが多い。

色んなジャンルの知識や技法を、全部自分のものにしよう！